

企画展「岡山城下の豪商、河本家の絵画」 を開催します

江戸時代の岡山城下の代表的な商家のひとつ、河本家の人々は学問や文化に関心が深く、貴重な書物や美術品の収集で知られていました。戦後、関係の人々から岡山市立図書館に寄贈されたその資料の中から絵画を中心に優品を展示し、藩政期の岡山の町人の文化を紹介します。

1 日時

令和7年5月22日(木)～7月6日(日) 10時～18時(木曜日は11時～19時) 月曜日休館

2 場所

岡山市立中央図書館 2階 視聴覚ホール前の展示コーナー(北区二日市町)

3 内容

河本家の収集品には時代の変転の中で散逸したものも多いですが、鎌倉時代の絵巻物で国宝に指定されている「餓鬼草紙」が現在は東京国立博物館に所蔵されているほか、岡山市立中央図書館には、(1)河本家の歴史をたどる上で重要な歴代の当主の肖像画、(2)河本家と交際があった京都の画家の作品や、河本家が収集した作品、(3)画技を本格的に学び、画家としても知られていた河本家の当主の作品、を中心に、なお多数の作品が保存されています。

このたびは、上記各分野の代表的な作品に、関連する文書資料を加えた約 20 点で構成する予定です。展示品はすべて岡山市立中央図書館所蔵で、多くが岡山市指定重要文化財です。

なお河本家の人々は、町人社会を代表する惣年寄という役職につき、岡山城下町の市政に携わったほか、蔵書を市民に公開して学問の普及に貢献したといわれ、名望家として数々の社会的な活動を行ったことで知られています。この展示を通して、そのことにも触れて行きます。

4 関連講座

令和7年5月17日(土) 14時～16時 「河本家伝来の絵画資料について」

会場 岡山市立中央図書館 2階 視聴覚ホール

講師 岡山市立中央図書館 主査学芸員 飯島章仁

定員60名(事前の申込受付なし・当日先着順)、聴講無料

【問い合わせ先】

岡山市立中央図書館 飯島・杉野

電話086-223-3373

おもな展示品



作者不詳^{こうもといっきよ}「河本一居像」部分
(河本家繁栄の基礎を築いた当主)



おおの ぶんぜん^{こうもとりっけん}「河本立軒像」部分
(文人として有名な当主の肖像)



と さ みつさだ^{とうじゆ}「藤樹先生像」部分
(作者は京都御所の御用画家)



かわばたきやくしやう
川端玉章「虎図」
(文久3年に岡山へ初めて来た虎の実写図)



こうもときんしゆう^{きしやうがみん}
河本琴州「机上俄眠図」部分
(河本家の当主の作品。詩作中に眠り込んでしまった図)